

越後駒ヶ岳 2026/6/10 ～ 13

前田、杉澤

行程

6/10 横浜→小出 13:57 →銀山平キャンプ場 14:30（テント）

6/11 銀山平 05:00 ⇒道行山 08:40 ⇒駒ノ小屋 14:00

（避難小屋泊）

6/12 駒ノ小屋 07:00「山頂往復」⇒道行山 10:20 ⇒銀山平
13:00（テント）

6/13 銀山平船着場 11:52 →浦佐駅→横浜

装備 補助ロープ 20m 登攀用具 ピッケル



キャンプ場に着いたのは、午後の早い時間。まずは掛け流しの「かもしかの湯」に行った。テントに戻ってビールを開ける。持参のキュウリは丸かじり。信州味噌を持ってきた。「うまい」

重いけど、餅も持ってきていた。こちらは「チーズ安倍川」ベースがキャンプ場なので重さが気にならない。
荒沢岳は目の前。ホトギス、ウグイス、いやカッコーまで。



6/11 銀山平からは北ノ又川に沿ってつけられた道や踏み跡をつないで歩く。大イワナが棲む名流と言われるが、人手が入っていない道もまた味わい深いものだ。



道行山までは人と行き会うことも無いだろう。気を張っていないとすぐにルートを見失ってしまいそうだ。小倉山からは登山道がはっきりする。しかしくたびれた。駒ノ小屋まできたら、もうだらしなく足を投げ出してのびてしまった。今日はここまで。

6/12 5時。雨音だ。風もある。出発を少し遅らせた。
雨脚が弱まったころあいに山頂を往復した。

越後駒ヶ岳。味わい深い山だった。特に銀山平からのアプローチが良い。交通不便な点がなお良いともいえる。

山頂付近「写真」の残雪はこんな感じ。冷え込んでいなければピッケルアイゼンもいらない。でも凍結していたら？そうはいかない。転びでもしたら滑落を止められないだろう。

下り、雪が岩に変わり、土の道に変わる頃、雨はやんだ。



6/13 荒沢岳は断念した。ひどい巡り合わせだ。予定の当日「鎖、梯子の取り付け作業日」という大きな看板が立てられていた。作業中の人の横を「ちょっと失礼」と行くのも失礼だろう。「やめよう」と杉澤さんと、そういう話になった。

バスで着いた浦佐駅前。降り立つと、越後駒と八海。姿の良い二山が並び立っている。立ち去りがたい思いをかき立てられた。あらためて思う。良い山旅だった。